

# タッセイの夜明け

シリーズで会長の創業の物語をお伝えしています。



シリーズ企画『タッセイ誕生秘話』  
～第4回～

新規開拓を上手く扱える職人がいない。

新たに生じた問題でした。いくら建材の機能が優れていたとしても、施工が不完全ではその機能は十分に発揮されません。

「職人がいないのなら、育てればいい。自分のところで扱う建材は自分たちで取り付けよう。」つまり施工込みで建材を販売しようと考えたのです。

この決断がタッセイの二本の柱のひとつ内装工事部門、現在の『コンストラクション営業部』の始まりになります。

早速建具屋の職人をスカウトし、自らが蓄えてきた建材の知識、内装のノウハウ、施工のポイントを教えました。施工体制が整うと以前から注目していた床のビニールタイルを取り扱うことを決め営業範囲を広げました。

施工もできるところは他ではなく、住宅や公共施設に使われることも多くなっていきました。

これをチャンスと考えた会長は名古屋から職人を呼び寄せ天井専門の職人も養成していったのです。こうして施工もできる販売業者として田中正義商店は広く知られることになります。

そして順調に職人の養成が進み、昭和30年代半ばに『職友会』※として組織化されたのです。

※職友会は現在175名の職人で構成され、北陸一の施工集団としてそれぞれ専門分野の工事で活躍を続けています。

今月号はここまで、来月号をお楽しみに☆



職友会 初代会長大嶋さんの長男の結婚式では  
田中会長夫妻が仲人を務めた。(左:大嶋さん)



## みんなのらくがき帳



～編集部からの  
自由コラムへ

意外にも？犬を飼っている武生支店の丹羽です。

犬種はスタッフォードシャー・ブル・テリアです。

名前は「ビア」

ビーレが好きなのでつけました。(笑)

私も年長の域に入り、仕事のストレスや疲れを

感じる毎日ですがこの「ビア」が癒してくれます。

犬の世話って大変ですよね。

疲れて帰っても「ビア」の顔を見ると

雨が降ろうがヤリが降ろうが散歩に出かけます。

息子も大きくなり手が離れた今、「ビア」にどうぶりハマっています！



うちのビア  
かわいいでしょ？

「建材」と「愛」をお届けする  
タッセイの「人柄」を見せる情報誌

発行

TASSAY

明日の快適を考える  
株式会社タッセイ

# タッセイ通信

Vol.005号

2014年9月25日発刊

## 三代目奮闘記



皆様、こんにちは！いつもありがとうございます。

この所「マネジメント」で有名なP・ドラッカーさんの本を読んでいる  
タッセイ3代目・常務の田中陽介です。

同年代で商売を営む友人たちと月に1冊読んだ本から響いた内容を実践する  
『ふくいドラッカー研究会』という会をはじめて2年目になります。

そこで今回はちょっとまじめに、建材屋の3代目としての思いについて触れさせて下さい。

ドラッカーが残した多くの名言の中で僕が気に入っている名言のひとつに  
「お客様（顧客）にとっての価値は何か？」

というフレーズがあります。（『経営者に贈る5つの質問』より）

では、私たちが働いている建設業の世界で、  
お客様が本当に欲しい価値って一体何なんだろう？  
僕なりに考えてみた結果、

「お客様が買っているのは家そのものではなく、  
その家で暮らす未来。」だと思うのです。

だから、自分と家族の未来の為なら、  
何千万円という大きな金額を出しても、

【家=未来の夢を叶えてくれる暮らし】を手に入れようと決意するのでしょう。

（個人的には、家は「買う」というより「建てる」という表現の方が好きなのですが…。）



- P.F. ドラッガー 5つの質問
- ① われわれの使命（仕事）は何か
  - ② われわれの顧客は誰か
  - ③ 顧客にとっての価値とは何か
  - ④ われわれの成果は何か
  - ⑤ われわれの計画は何か

その視点を、工務店さんと建材屋に置き換えてみました！

「工務店さんが仕入れているのは、  
家を建てる建材・施工そのものではなく、  
お施主さまがその家で暮らす未来を実現する為のパート」  
ということになるんだと思うのです。

だんだん建材屋の仕事で本当に大切な事が見えてきました。  
いかに建材と施工を工程通りに納めるか？

これは当たり前として、さらにもう一步先まで考える

「作り手の工務店さんと一緒に協力して、住まい手の未来を最優先する建材屋」

これがお客様にとって、僕らタッセイの存在価値なのではないかなあ。  
というのが僕なりの考えです。

どうか皆さんにとっての一番大切な価値について聞かせて下さい。 株式会社タッセイ 常務取締役  
皆さんの率直な声に、真剣に応えていけたら幸いです。



田中陽介



普段は聞けない!? あんなこと♪ こんなこと♪

# TASSAY テレフォンショッキング

前回に引き続き 編集長 松山が  
松タモリに変身♪  
愉快にインタビュー



今月は高橋郁恵さん！

たかはし いくえ  
名前: 高橋 郁恵  
所属: コーディネーター  
勤続: 10年  
好きな芸能人: 長谷川博己、斎藤工、西島秀俊、その他イケメン♡



タ: タッセイ通信今月号のゲストはコーディネーターの高橋郁恵さんです！

コーディネーターって普段どんな仕事しているんですか？

高: 水回り商品の提案・見積りなど営業の方のサポートですかね。

タ: 高橋さんに助けられている営業は沢山いる気がします。

でも、10月で退社されるんですよね？

高: そうなんです。出産を機に辞めることになりました。

みなさん今までありがとうございました～

タ: まだ早いですか？ (焦) 出産に向けて準備は進んでますか？

高: 今妊娠7ヶ月なんですが、名前悩み中なんです。

タ: 名前って悩みますよね。どんな子に育ってほしいですか？

高: 健康であれば多くは望みません。でも、行く学校がないほど頭がわるくなれば良いかなあ。(笑)

タ: 僕でも行ける学校あったんで大丈夫です！！(笑)

タ: では入社10年を迎えて、今年退職されるということで、これまでの10年を振り返ってどうですか？

高: これまでの10年を振り返って…

う~ん。難しいですね。ミスをして辞めようと思ったこともありましたけど、社員のみなさんがいたからこそこれまでやってこれました。

感謝の言葉しかできません(泣)

タ: 模範解答ですね！(笑)

では、最後に後任の蓮浦さんに一言！

高: 営業の方からの無茶ぶりには注意して下さい！(笑)

じゃなくて、困ったときはひとりで考えず誰かに相談して下さい！

意外と何とかなるものです。

後任の  
はすうらあきこ  
蓮浦亜希子さんです。  
頑張ってくださいね☆

不安なことも多いですが、  
頑張ります！  
宜しくお願いします♪



高橋郁恵さん、お忙しいところ、ありがとうございました！

来月は、金沢支店ハウジング営業部 小木隆寛さん！出てくれるかな？

## 特別企画

## 編集チーム お盆の

# おもひでぽろぽろ

今月は特別企画「編集チーム お盆のおもひでぽろぽろ」と題しお盆休みの思い出を編集チームスタッフが一言でまとめました！

松山 嘉臣 「コストコ」

弟家族と中部国際空港の近くにある大型輸入スーパー「コストコ」へお盆ということであまりの人の多さにまともに買い物できませんでした…。近い将来、石川県にコストコが出来るらしいのでリベンジします！

岩佐 奈津子 「BBQ」

お盆休みはBBQ三昧でした！！  
あいにくの天気でしたけど、みんなでわいわい食べるお肉は最高！  
でも、昼、夜BBQはさすがにきついですね。胃薬を買いにいきました。(笑)

和田 いずみ 「蚊」

たくさん蚊に刺されて、毎日かゆい思いをしました。  
蚊に刺されると爪で十字の痕をつけるのは私だけではないはず(笑)

丹羽 勝美 「高校野球」

お盆は天気も悪くどこへも出かけず、お金もたまり放題！？(笑)  
4日間、大好きな高校野球をテレビで観戦し興奮！  
敦賀気比高校、大健闘でした！！

西山 智伸 「昔からの愛読書」

作者の訃報を知り、昔の愛読書「アルジャーノンに花束を」読み返しました。  
幸せとは何かをつくづく考えさせられる本で、懐かしくも新鮮に感じました。  
名作は何度読んでもいいですね！

松苗 由貴 「美術鑑賞」

お盆休み中はのんびりと石川県立美術館の「華麗なる英國美術の殿堂展」観てきました、パティシエの辻口さんのCAFÉもあり意外といいですよ。

田中 僚太 「バンド」

今年は先輩のバンドのライブを見に行ってきました。  
バンドも観客も年齢層はバラバラで今までにない世界観を味わえました。  
僕もベースを始めてみようかな…